



## 学校の特色化に係る方針

県立村上中等教育学校長  
吉井 裕也

### I 校長として目指している学校像

- 1 全教職員が各自のキャリアに基づく指導力を遺憾なく発揮し、協働して6年間を見通した教育計画を実践する学校
- 2 生徒が将来を力強く切り拓くための資質・能力を身に付ける場として「授業」を捉え、全校を挙げて授業改善に取り組む学校
- 3 清潔で落ち着いた学習環境の下、すべての生徒が安心して過ごし、自らの成長を実感することのできる学校

### II 目標を実現するために必要な教師像

- 1 熱意をもって自らの学習指導の充実・改善に取り組む教師
- 2 観察力・想像力・コミュニケーション能力に富み、生徒・保護者との関係を大切にする教師
- 3 同僚と協働して自校の課題解決に取り組むことのできる教師

### III 当校の特色ある取組

- 1 6年間を見通した指導計画に基づくキャリア教育の実施
  - ・ソーシャル・スキル・トレーニング、ブリティッシュヒルズ修学旅行、職場・福祉体験、小学校での英語指導体験、オーストラリア海外研修旅行等、生徒の発達段階に応じた多彩な体験型学習の実施
  - ・生徒・保護者のニーズを踏まえた、チューター講座、合格体験を聞く会、保護者対象進路説明会等、手作りの企画の実施
- 2 地域活性化の拠点としてのスクール・アイデンティティ
  - ・村上町巡り、町屋の人形さま巡り、瀬波温泉活性化計画の提案、地元企業訪問に基づくCM制作、地域振興策の行政等への提案等、地域理解・地域活性化に係る探究的な学習の実施

### IV 令和元年度の重点目標

- 1 学校情報の積極的な発信
  - ・学年だより、進路だより、保健だより等、学校通信を定期的に発行し、学校の取組についての保護者、地域の理解を深める。
  - ・学校ホームページについて、より魅力的な内容にするとともに、更新頻度をアップする。
- 2 授業改善の推進
  - ・主体性、積極性を喚起する授業づくりを目指した授業公開、研究授業を実施する。
  - ・生徒の立場に立った、より見やすく分かりやすい「シラバス」を開発する。
- 3 進学実績の向上
  - ・地域のニーズに応えるべく、実効の上がる学習指導、進学指導について模索し、実施する。
  - ・国公立大学合格者60%以上、うち難関国立大学10人を目標に据えて、生徒のチャレンジを支援する。
- 4 安全・安心な教育環境の保持
  - ・いじめ対策委員会の組織を改編し、「学校いじめ防止基本方針」を見直す。
  - ・いじめ対策推進教員を中心として、組織的対応を強化する。